社会資本総合整備計画 中間評価書 平成30年12月10日

711.2	1 只个心口正								1 79	700   12/J10 H	
計画の名	名称 岡山県におい	ける県民の豊かな生活を確保できる港づ	くり計画								
計画の期間 平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間) 重点配分対象の該当								対象の該当			
交付対	交付対象 岡山県										
		<b>電設整備を実施することで、物流機能の</b>									
全体事	業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)	1, 049 A	1, 049 B	0 C	0 D	0 効果促進事	採費の割合C/(A+B+	(A + B + C + D) 0 %		
				計	画の成果目標(定量的指標)						
番号				定量的指標の現況値及び目標値							
田勺	定量的指標の定義及び算定式							中間目標値	最終	目標値	
					(H27当初)	(H29末)	(H31末)				
1	1 水島港玉島地区での取扱貨物量の増加 [97万トン(H25)→114万トン(H31)]										
	港湾統計による耳	双扱貨物量 [水島港玉島地区]			97万トン	114万トン	万トン 114万トン				
2	利用がない用地の	)有効利用率 [0%(H27)→100%(H31)]									
	対象施設の内、利用転換済施設数/利用転換が必要施設数(1施設) = 有効利用率 [水島港水島地区] 0% 0% 100%										
			備考等			個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	一 定住自立圏を含む	- 連携中枢都市	市圏を含む −	

案件番号: 0000053523

A 基幹事業																	
		事業	地域	交付	直接	事業者	<b>番別 1</b>	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		作里力リュ	性加工	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H27 H2	8 H29	H30 H31	(百万円)	便益比	策定状況
1			実施する	ることによ	より期待?	される効果											
		備考				1		1	T	1							
港湾事業		港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 乙島4号	浚渫土量 V=83, 613m3	水島港 玉島地	-   -			310		-
I	A02-001								泊地 (-10m) 浚渫		区						
		港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 桟橋(-5	桟橋整備 L=100m	水島港・玉島地				236	21. 3	_
	A02-002								. 5m)		区						
			'	1	1	1					'					I	
		H30より重	重点計画	へ移行													
		港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港水島地区 緑地	公園緑地 A=0.6ha	水島港 水島地				470		_
	A02-003										区						
						1		1									.1.
		港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	水島港玉島地区 外貿1号	防舷材 N=8基	水島港 玉島地				28		_
	A02- 004								岸壁(-10.0m) 防舷材		区						
					l						-					I	
		港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 玉島南	道路標識 N=1基	水島港 玉島地				5		_
	A02-005								幹線臨港道路標識		区						
I						1		1									
											小計				1, 049		
						1			<u>I</u>	I.	I						
											合計				1, 049		
ı				l		1	1	1		1	1			1 1			
I																	
		I															

1

案件番号: 0000053523

 ○中間評価の実施体制、実施時期		
中間評価の実施体制	F	中間評価の実施時期
		平成30年12月
整備計画構成自治体 岡山県	'	1,7,400   1,20,1
	$\overline{2}$	公表の方法
	司	岡山県ホームページ
○ 車 茶 幹 田 ○ 3 4 1 1 1 7 1 1	L	
○事業効果の発現状況	港湾統計による取扱貨物量が増加した。	
定量的指標に関連する		
交付対象事業の効果の発現状況		
	道路標識の設置により、通行車両等の利便性が向	句上した。
  定量的指標以外の交付対象事業の		
効果の発現状況(必要に応じて記述)		
○特記事項(今後の方針等)	,	
緑地整備を実施することで、港湾施設	<mark></mark> 段利用者及び住民の憩いの場など魅力ある港湾空間	明の形成を図る。

○目;	○目標値の達成状況								
番号	指標(略称) 日標値/実績値 日標値と実績値に美が出た亜田								
	目標値/	/実績値	目標値と実績値に差が出た要因						
1	取扱貨物量								
	rt 199	114万トン	泊地及び防舷材を整備したことにより、利用者の利便性が向上したため。						
	中 間 実績値	126万トン							
	有効利用率								
2	中 間目標値	0%							
	中 間 実績値	0%							

## 社会資本総合整備計画

